

2 視覚障がい者に関わっているグループ

茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団

連絡先	市社会福祉協議会事務所	電話 (85) 9650
結成年	昭和50年2月	
構成	54名 (男性6名 女性48名)	
年会費	1,000円	
月会費	なし	
活動日時	毎週金曜日 10時～12時	
活動場所	茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス	
活動内容	一般図書点訳、新聞や雑誌の記事を集めた点字雑誌「てんとう虫」、「とうだい」と題した交流誌、地域版ミニ情報誌「はまかぜ」を市内在住の読者にお送りしています。またJRやバスの時刻表、視覚障害者に関する団体会報やお知らせ、総会資料、読者が希望する本や楽譜などの点訳、取扱い説明書など生活に密着したリクエストにお応えしています。他に中途視覚障害者への点字指導、地域・学校等の点字指導も行っています。	
できた経過	昭和49年、市社会福祉協議会主催の点訳講習会があり、その参加者が引き続き点訳を学びながら、本を作ったり、視覚障害者と交流がもてたらと会を結成しました。	
会から一言	地味で根気のいる作業ですが、視覚障害者の方が私たちと同じように多くの情報を得ることができ、生活の中の支障が少しでも解消されることを願いながら活動しています。	



茅ヶ崎録音奉仕会

連絡先	市社会福祉協議会事務所	電話 (85) 9650
結成年	昭和52年5月	
構成	50人 40歳代～80歳代	
年会費	1,000円	
月会費	なし	
活動日時	毎月上旬に定例会、他に2、3日	
活動場所	市社協ボランティアルーム、市役所会議室、市立図書館 他	
活動内容	「声の広報」(広報ちがさき 1日号)や、「市議会だより」、「社協ちがさき」、「選挙公報」などの公共印刷物の録音版、また新聞や雑誌の記事を取り上げた「さざ波」、天声人語、川柳、エッセイなどを毎月発行、身近な情報を集めた「街のそよ風」を音声録音したCDやテープを郵送又は会員が直接宅配しています。また読者さんの依頼により対面朗読やその他読み物を音声化してお届けしています。読者さんとの交流懇親会、市内中学校への福祉体験学習への協力、会員研修会などを行っています。	
できた経過	“広報ちがさき”を「声の広報」として、視覚障がい者にお届けすることを目的に発足。	
会から一言	目の代わりに情報提供する音声訳の仕事は、“正確に伝える”ことが第一。下調べ、勉強会など、日々の積み重ねが求められます。会員同士和を大切に、学びながら楽しく活動しています。本を読むのが好き、人の役に立ちたい方、入会をお待ちしています。	

茅ヶ崎誘導グループ 草笛

連絡先	市社会福祉協議会事務所	電話 (85) 9650
結成年	昭和61年7月	
構成	31名 (男性7名 女性24名)	50歳代～80歳代
年会費	1,200円	
月会費	なし	
活動日時	毎月1回定例会(第一火曜日)、誘導は利用者の依頼により随時	
活動場所	市社会福祉協議会ボランティアルーム、茅ヶ崎市内で誘導	
活動内容	視覚障害者の外出援助が主な活動です。他に視覚障害者との交流活動、誘導技術研修・講習会への参加、ボランティア大学を通じて誘導ボランティアの育成、視覚障害者に関する社会への啓発、市内小・中学校や地域団体等での福祉体験学習指導へも参加しています。	
できた経過	市社会福祉協議会と県ライトセンター共催による視覚障害者誘導法講座の、受講者有志によって会を結成しました。	
会から一言	一人歩きできる方ならどなたでもできる即実践的なボランティアです。外出援助やレクリエーションなどに障害者の方と行動を共にすることにより、今まで経験できなかったことや、違う物の見方をすることができ、私達のほうが励まされたり、教えられることが多くあります。行動力のある方、入会をお待ちしております。	

茅ヶ崎録音ボランティアなかま

連絡先	市社会福祉協議会事務所	電話 (85) 9650
結成年	昭和55年4月	
構成	正会員21名 協力会員3名 (男性3名 女性18名)	50歳代～70歳代
年会費	2,400円	
月会費	なし	
活動日時	木曜日(月3回程度) 午前・午後、対面朗読：水曜日・第2木曜日	
活動場所	茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス、図書館、青少年会館	
活動内容	「声のアラカルト」と題して生活情報・お店紹介・料理・旅・文芸作品等を納めたCDを作り、障害者宅へお届けしています。ご希望の方には郵送もします。図書館及び青少年会館で対面朗読も行っています。障害者との交流のつどいや、会員の研修も行っています。	
できた経過	茅ヶ崎市の福祉モニター修了者が母体となり結成。1年間は、福祉学習や施設見学を重ねた後、グループとしての活動を、視覚障害者へのボランティアを行うこととしました。	
会から一言	会の名称「茅ヶ崎録音ボランティアなかま」は、障害者も会員もみな「なかま」という気持ちをこめてつけられました。小さなグループですが、読者の方と心の通い合えるCD雑誌を作ることに皆、情熱を持って取り組んでいます。会員同士の親睦や障害者との交流にも力を入れています。	